

令和8年5月
水戸市（茨城県）

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、令和5年3月に認定を受けた第2期認定基本計画に基づき、「多様な人々が集い、暮らし、働き、皆が魅力を味わえる、快適でにぎわいのある水戸のまちなか」を目指し、三つの基本方針「人々が訪れたくなる魅力づくり」、「人々が暮らしたくなる快適空間づくり」、「地域経済をけん引する活力づくり」のもと各種事業を推進している。

本計画に重点施策として位置付けた「芸術・文化、歴史のまちづくり」としては、水戸市民会館、水戸芸術館及び京成百貨店の3施設が連立するエリア「Mitori0」において、芸術・文化の創造・発信や新たな交流、にぎわいを高めていくための取組を推進している。特に、水戸市民会館においては、市民の活発な芸術文化活動が進むとともに、大規模コンベンションや、著名アーティストによるコンサート等の多種多様なイベントが開催されることで、来館者数が目標値を大きく上回るなど、中心市街地のにぎわい向上に大きく寄与している。

また、弘道館・水戸城跡周辺地区においては、大手門などの歴史的建造物等を案内する歴史まち歩きツアーや、弘道館東側広場を活用した民間団体によるイベント開催等により同地区への誘客が促進され、指標となる二の丸展示館の来館者数が目標値を上回るなど、新たなにぎわいの創出につながっている。

「人々が集い都市的な暮らしが楽しめるまちづくり」としては、民間事業者のマンション整備による住宅供給が促進されるとともに、水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業等について、住宅をはじめとした複合施設の整備に向け、建築工事が進むなど、着実に進捗が図られている。また、既存住宅ストック等の活用について、子育て世帯まちなか住みかえ支援事業や住宅リフォーム助成事業の活用も順調に進捗している。居住人口については、本計画において初めて増加に転じ、基準値を上回る結果となったことから、引き続き、各事業を効果的に推進するなど、中心市街地への移住・定住を更に促進していく。

「メインストリートを軸とした活力創生、にぎわいが循環するまちづくり」としては、空き店舗対策事業や中心市街地店舗、事務所等開設促進事業の活用等により、新規開業数が基準値を上回る結果となった。

また、シェアサイクル「みとちゃり」については、サイクルステーション及び自転車の設置数を拡大したほか、プロスポーツチームと連携するなど、まちなかの回遊性の更なる向上を図っている。

これらの各種事業の推進等によって、令和7年度においては、目標指標1-1「芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口」及び目標指標1-2「歩行者通行量」は目標を達成した。目標指標2「居住人口」は基準値を上回り、今後の目標達成に向けて進捗している。目標指標3「新規開業数」は計画期間の累積目標には及ばないものの、基準値を上回り、昨年に引き続き単年の成果としては順調であり、まちなかへの人の流れが活発化してきているところである。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(単位：人)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (最終年度)
人口	7,028	6,914	6,889	7,147	—	—
自然増減数		▲47	▲67	▲22		
社会増減数		▲67	41	255		
転入者数		424	435	385		
人口増減数 (対前年度)		▲114	▲26	258	—	—
人口増減数 (対基準年度)		▲114	▲140	119	—	—

※資料：住民基本台帳（基準日：毎年度10月1日）

(2) 地価

(単位：円/㎡)

	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (最終年度)
平均	122,433	122,650	123,666	125,633	—	—
宮町1丁目 250番 (駅前広場接面)	261,000	261,000	261,000	265,000	—	—
南町2丁目 483番2外 (800m)	96,000	97,400	99,000	101,000	—	—
泉町1丁目 26番外 (1,300m)	116,000	118,000	120,000	123,000	—	—
泉町2丁目 100番 (1,500m)	96,500	97,700	98,900	100,000	—	—
五軒町2丁目 1189番 (1,600m)	85,500	82,500	83,800	85,500	—	—
栄町1丁目 22番 (2,100m)	79,600	79,300	79,300	79,300	—	—

※資料：国土交通省地価公示（基準日：毎年度1月1日）

※カッコ内は、水戸駅からの距離を示している。

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

(ここには中心市街地活性化協議会の意見を記載します。)

水戸市中心市街地活性化協議会としては、行政、関係団体などと協議・調整しながら中心市街地の活性化を推進した結果、計画に位置付けた事業などは概ね順調に推移しているものと評価している。

活性化の目標指標は目標値と比べて、芸術文化及び歴史的拠点などにおける交流人口は達成率 173.3% (目標値 850,000 人、最新値 1,473,373 人)、歩行者通行量は達成率 110.4% (目標値 112,000 人、最新値 123,595 人) と達成した。また、新規開業数は達成率 84.6% (目標値 65 事業所 (R5～R9 の合計数)、最新値 55 事業所 R5～の累計) と昨年に続き、達成が期待できる数値であった。

一方で、居住人口は目標の 8,100 人に対し、最新値が 7,147 人で達成率は 88.2% に留まった。令和 6 年比で 258 人増と基準値の 7,029 人を上回り、増加傾向にはあるものの、目標値とは 953 人の開きがあり、活性化の推進に向けた課題も依然として残されている。

「芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口」については、水戸市民会館における大規模コンベンションや著名アーティストのコンサート、水戸市芸術祭といった多角的なイベント展開が功を奏し、目標値を大幅に上回る結果となった。令和 6 年度比においても 98,087 人増と着実な交流人口の拡大が示された。

この流れを止めることなく、官民が密に連携し、更なるにぎわいの創出に向けた施策を継続していただきたい。

また、弘道館・水戸城跡周辺地区については、水戸城大手門や二の丸角櫓などを巡る歴史まち歩きツアーや弘道館東側広場を活用したイベントなど、周辺の歴史的建造物を活用した事業が実施された。引き続き、水戸市の歴史まちづくりのシンボルエリアとして、更なる魅力向上と交流人口の創出に向けた取組をお願いしたい。

「歩行者通行量」については、令和 7 年度は目標値の 112,000 人を 11,595 人上回った。前年と比べても 7,040 人増と過去 10 年間で最多記録を更新した。今後は、通行量の多い水戸駅や Mitori0 エリアから周辺への周遊を促進し、にぎわいが中心市街地全域に波及する取組に加え、更なる魅力向上につながる事業実施を期待したい。

「居住人口」については、令和 6 年度の 6,889 人から 258 人増加し、計画開始以来、はじめて基準値を上回った。また、「子育てまちなか住宅取得事業」や「安心住宅リフォーム支援事業」などの施策利用は目標を上回る推移を見せており、居住促進に向けた取組が一定の効果を示したといえる。また、「水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業」や「泉町 1 丁目広小路地区優良建築物等整備事業」などの進捗により、今後の住宅供給戸数の更なる増加が見込まれる。

引き続き、子育て支援・多世代交流の推進、医療拠点の充実、買い物環境の整備などにより、多様な世代の方々が住み、働き、学び、遊ぶコンパクトな暮らしが実現しやすいまちなかの形成を目指してほしい。

「新規開業数」については、年度内に 15 件の新規開業があり、累計で 55 件に達した。これにより、令和 9 年度までの目標値である 65 事業所の達成が十分に見込める状況となっている。今後も、空き店舗対策、本社機能の移転・拡充促進に加え、創業支援などの継続実施とともに、制度の周知および申請の簡便化を進めることで、更なる開業促進を図ることを期待する。

「水戸のまちなか大通り等魅力向上検討協議会」では、令和4年3月に未来ビジョンを策定し、以降、それに基づいた社会実験およびプロモーションを継続して実施している。令和7年度には活動をより実効性のあるものにしていくため、ソフト・ハード両面の事業構築に着手。商店街や民間企業、プロスポーツチームなどの多様な主体との連携を具体化するため、ロードマップを明確化した「連携ビジョン」を作成した。

また、より共感を呼ぶ将来イメージやロゴを作成し、「未来ビジョン ver. 2」へのブラッシュアップを図るとともに、歩道空間活用による魅力向上を目的とした実証実験を実施した。

このような継続的な活動は、通行量の多い水戸駅やMitori0エリアから周辺への周遊を促進し、にぎわいが中心市街地全域に波及する取組であり、まちなかの更なる魅力向上、イメージアップにもつながり、多様な世代の方々が住み、働き、学び、遊ぶコンパクトな暮らしを実現し、歩行者通行量や新規開業数などの増加要因にもなる。これら、「居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり」の事業と、市の推進する事業が連携し、相乗効果を発揮することを期待する。

現在、様々な施策を通じて中心市街地活性化に取り組んでいるが、今後は積極的に関与する主体の動機や挑戦、そして成果と課題を共有し特徴的な機運が醸成されるような取組と施策とのつながりを検討する機会を確保していくことが求められる。

本協議会は、第2期中心市街地活性化基本計画に提案した事業をはじめとする各種事業の実施に向けて、水戸市と協力して全力で取り組んでいく。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
にぎわいの向上	芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口	139,028 人／年 (R3)	850,000 人／年 (R9)	1,473,373 人／年 (R7)	A	A	A
	歩行者通行量	89,489 人 (R4)	112,000 人 (R9)	123,595 人 (R7)	A	A	A
居住の促進	居住人口	7,029 人 (R4)	8,100 人 (R9)	7,147 人 (R7)	B	A	A
事業所等の立地促進	新規開業数	46 事業所 (H29～R3 の合計数) (R3)	65 事業所 (R5～R9 の合計数) (R9)	55 事業所 (R5～の累計)	B	A	A

< 基準値からの改善状況（※1） >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

※目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

2. 目標達成見通しの理由

「芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口」について、令和7年度は1,473,373人であり、目標値を上回った。要因としては、水戸市民会館において、市民の活発な芸術文化活動が進むとともに、大規模コンベンションや、著名アーティストによるコンサート等の多種多様なイベントが開催されたことにより、事業目標値600,000人に対し1,215,481人の来館者数を獲得した。また、水戸芸術館においては、水戸市芸術祭をはじめ、音楽・演劇・美術の3部門における各種事業を展開するとともに、来館者が創作を体験できるプログラムなどを行ったことにより、令和7年度の実来館者数は事業目標値100,000人を超える117,646人となった。さらに、大手門をはじめとする歴史的建造物等を案内する歴史まち歩きツアーや、弘道館東側広場を活用した民間団体によるイベント開催等により、周辺エリアや施設への誘客が促進され、歴史まち歩きツアー及び二の丸展示館の実来館者は事業目標値49,000人を超え、50,871人となった。引き続き、水戸市民会館事業や水戸芸術館事業を推進するとともに、弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりに取り組みながら、交流人口の目標達成を継続していく。

「歩行者通行量」について、令和7年度は123,595人であり、前年度に引き続き、目標値の112,000人を上回った。これは、水戸市民会館事業の推進や弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり等が順調に進捗しているためと考えられる。引き続き、駅からMitori0周辺や大工町に向かって歩行者等が回遊し、にぎわいがまちなか全体に波及するよう、まちなかの魅力や回遊性向上に向けた事業を更に推進しながら、歩行者通行量の目標達成を継続していく。

「居住人口」については、令和7年度は7,147人であり、主要事業である子育てまちなか住宅取得事業や住宅リフォーム支援事業の活用が増加傾向にあることから基準値を上回った。今後、水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業や泉町1丁目広小路地区優良建築物等整備事業等により、住宅供給戸数の増加を見込んでおり、更なる既存住宅のストック活用を促進しながら、目標達成を目指していく。

「新規開業数」については、令和7年度における新規開業数は15件であり、単年度における目標値を上回るとともに、累計では基準値を上回る55事業所となった。今後も、空き店舗対策事業等の活用により、新規開業を促進するなど、引き続き、目標達成を目指していく。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

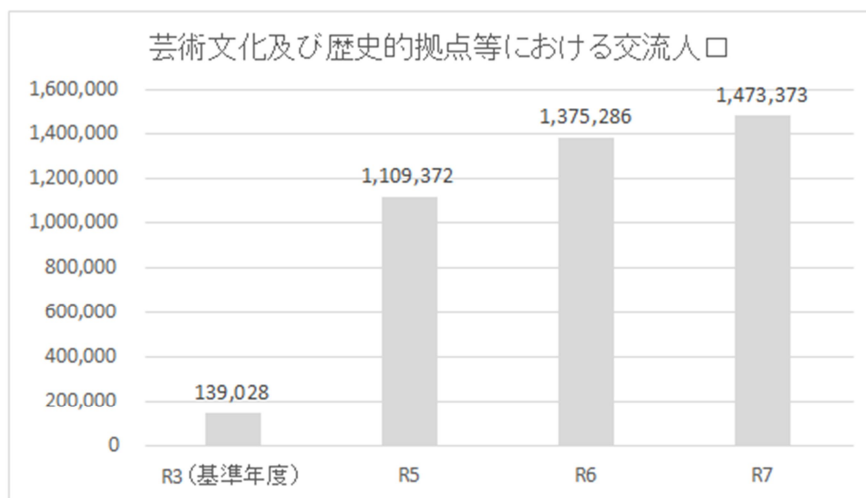
前回のフォローアップと見通しの変更なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 66～P. 69 参照

●調査結果と分析



年	入館客数 (人)
R3	139,028 (基準年値)
R5	1,109,372
R6	1,375,286
R7	1,473,373
R8	
R9	850,000 (目標値)

※調査方法：各施設からの報告数値

※計測値：令和7年度の累計

※調査主体：水戸市

※調査対象：水戸市民会館、水戸芸術館及び弘道館・水戸城跡周辺の客数

○調査対象施設の来館者数

(単位：人)

施設名等	R3年度 (基準年度)	R5年度 (1年目)	R6年度 (2年目)	R7年度 (3年目)	R8年度 (4年目)	R9年度 (最終年度)	R9年度 (目標値)
水戸市民会館	—	874,850	1,116,733	1,215,481	—	—	600,000
水戸芸術館	46,097	108,049	108,247	117,646	—	—	100,000
弘道館	49,889	73,248	77,904	89,375	—	—	100,000
歴史まち歩きツアー参加者数及び二の丸展示館の来館者数	43,042	53,225	72,402	50,871	—	—	49,000
合計	139,028	1,109,372	1,375,286	1,473,373	—	—	850,000

〈分析内容〉

芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口について、令和7年度は 1,473,373 人 と、昨年に続き目標値である 850,000 人を上回った。

水戸市民会館においては、市民の活発な芸術文化活動が進むとともに、大規模コンベンションや水戸市民会館音楽祭など、多種多様なイベントが開催されたことにより、来館者数が目標を大きく上回った。

水戸芸術館においては、水戸室内管弦楽団による定期演奏会の開催をはじめ、音楽・演劇・美術の３部門における多彩でかつ質の高い事業を展開するとともに、来館者が創作を体験できるプログラム等を行ったことにより、来館者数の目標を上回った。

弘道館・水戸城跡周辺地区においては、大手門をはじめとする歴史的建造物等を案内する歴史まち歩きツアーや、弘道館東側広場を活用した民間団体によるイベント開催等により、誘客が促進され、弘道館や二の丸展示館の来館者数が増加した結果、ツアー参加者数及び二の丸展示館の目標を上回った。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 水戸市民会館事業の推進（水戸市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	水戸市民会館において、市民自ら企画、運営、参加、出演する舞台の制作や大ホール、中ホール等を使用した全館規模の自主事業を実施するとともに、関係機関と連携しながら、市民ニーズの高いコンサートや会議を開催するなど、大規模なコンベンションを誘致する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和５年４月～令和１０年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 600,000人（水戸市民会館の来館者数） 【最新値】 1,215,481人（令和８年３月末） 【進捗状況】 令和５年７月の供用開始以降、市民の芸術文化活動の発表の場として活発に利用されるとともに、大規模コンベンションなど、多種多様なイベントが開催されたことにより、令和７年度の来館者数は1,215,481人となり、事業目標値を上回る成果が現れている。
事業の今後について	引き続き、市民ニーズの高いコンサートや会議等の開催とともに、大規模なコンベンション誘致を行うなど、各種事業を展開し、更なる誘客を促進する。

②. 水戸芸術館事業の推進（（公財）水戸市芸術振興財団、水戸市）

事業実施期間	平成元年度～【実施中】
事業概要	水戸芸術館において、世界に向けて芸術・文化を創造・発信する拠点として、水戸室内管弦楽団による定期演奏会を開催するなど、音楽・演劇・美術の３部門にわたり多彩でかつ質の高い魅力あふれる事業を展開する。

国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	【事業目標値】 100,000人（水戸芸術館の来館者数） 【最新値】 117,646人（令和8年3月末） 【進捗状況】 水戸室内管弦楽団による定期演奏会の開催をはじめ、音楽・演劇・美術の3部門における各種事業を展開するとともに、来館者が創作を体験できるプログラムなどを行ったことにより、令和7年度の来館者数は117,646人となった。
事業の今後につ いて	引き続き、音楽・演劇・美術の3部門にわたり多彩でかつ質の高い魅力あふれる事業を展開するなど、芸術・文化を発信しながら、まちの魅力の向上を図る。

③. 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり（水戸市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	弘道館・水戸城跡周辺地区においては、令和元年度に水戸城歴史的建造物である大手門、令和2年度に二の丸角櫓等が完成し、地区の魅力が高まっている。歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントの開催等により、当地区への誘客を促進する。
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	【事業目標値】 ・100,000人（弘道館の来館者数） ・49,000人（歴史まち歩きツアー参加者数及び二の丸展示館の来館者数） 【最新値】 ・89,375人（令和7年度における弘道館の来館者数） ・50,871人（令和7年度における歴史まち歩きツアー及び二の丸展示館の来場者数） 【進捗状況】 弘道館・水戸城跡周辺地区において、大手門等歴史的建造物等を案内する歴史まち歩きツアーや、弘道館東側広場を活用した民間団体によるイベント開催等、誘客を促進することで、二の丸展示館の来館者数等が事業目標値を上回ったほか、弘道館の来館者数は、事業目標値の約89%であった。

事業の今後について	引き続き、歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントを開催するとともに、弘道館・水戸城跡周辺地区の魅力を発信しながら誘客を促進する。
------------------	---

●目標達成の見通し及び今後の対策

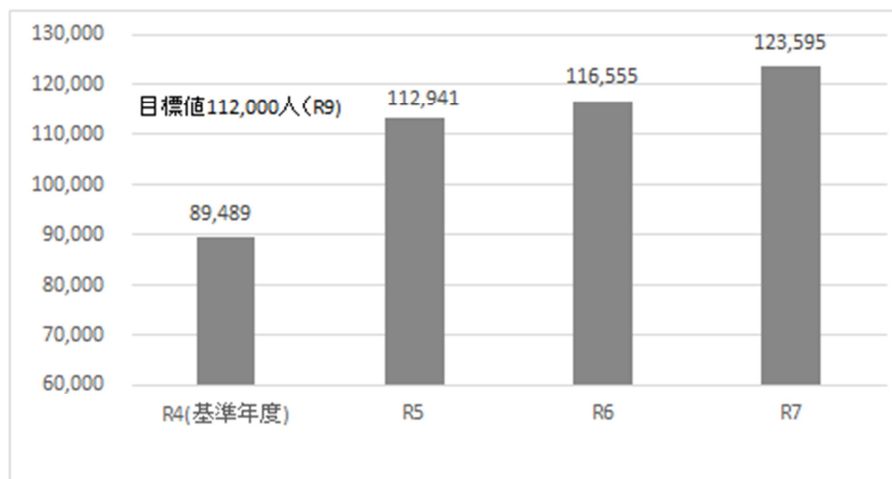
主要事業はおおむね順調に進捗しており、前年度と同様に目標値を上回ったところである。

引き続き、水戸市民会館においては、市民の活発な芸術文化活動が進むとともに、市民ニーズの高いコンサート等の開催や大規模なコンベンション誘致を行うとともに、水戸芸術館において、音楽、演劇、美術の3部門における質の高い催しを開催するなど、各種の事業を展開し、更なる誘客を促進する。

また、水戸市民会館、水戸芸術館及び京成百貨店の三つの施設が連立したエリア「Mitori0」の魅力向上を図るとともに、Mitori0のにぎわいがまちなか全体に波及するよう、回遊性向上に向けた事業を推進していく。

水戸の歴史の象徴でもある弘道館・水戸城跡周辺地区においては、引き続き、民間団体による弘道館東側広場を活用したイベントの開催により、誘客の促進とにぎわいの創出を図るとともに、弘道館・水戸城跡周辺地区の魅力を発信する。さらに、歴史まち歩きツアーや歴史に関する講座を実施するなど、本市の歴史にふれ、学び、親しむ機会を醸成することで、同地区への来街者の増加とともに、まちなかへの回遊を通じた交流人口の増加を図る。

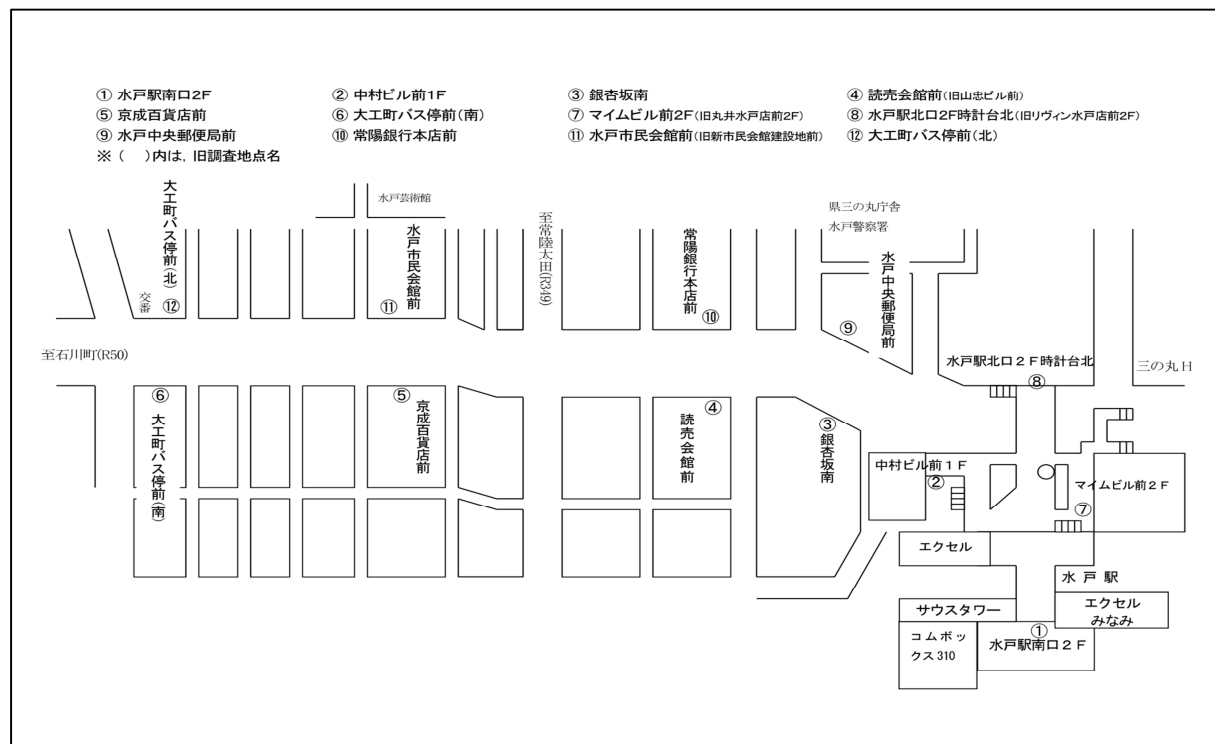
●調査結果と分析



年	歩行者通行量 (人)
R4	89,489 (基準年値)
R5	112,941
R6	116,555
R7	123,595
R8	
R9	112,000 (目標値)

※調査対象：中心市街地内 12 地点における就学児以上の歩行者及び自転車の通行量

○調査対象地点



○歩行者通行量の調査結果

(単位：人)

	R4 年度 (基準年度)	R5年度 (1 年目)	R6年度 (2 年目)	R7年度 (3 年目)	R8年度 (4 年目)	R9年度 (最終年度)
地点①水戸駅南口 2 F	43,569	53,148	46,173	62,145	—	—
地点②中村ビル前 1 F	7,268	9,382	9,930	8,442	—	—
地点③銀杏坂南	4,152	4,036	5,876	5,256	—	—
地点④読売会館前	3,702	4,243	5,619	4,636	—	—
地点⑤京成百貨店前	4,060	4,919	7,727	5,323	—	—
地点⑥大工町バス停前(南)	1,322	2,039	2,305	2,339	—	—
地点⑦マイムビル前 2 F	7,869	9,330	10,030	10,445	—	—
地点⑧水戸駅北口 2 F 時計台北	6,385	6,166	8,193	6,701	—	—
地点⑨水戸中央郵便局前	3,535	4,174	5,400	4,749	—	—
地点⑩常陽銀行本店前	2,908	3,478	3,218	3,383	—	—
地点⑪水戸市民会館前	2,413	9,945	9,512	7,256	—	—
地点⑫大工町バス停前(北)	2,306	2,081	2,572	2,920	—	—
合計	89,489	112,941	116,555	123,595	—	—

〈分析内容〉

歩行者通行量について、令和 7 年度は 123,595 人となり、昨年度に続き目標値を上回った。

前年度と比較すると、水戸駅南口で数値が大きく伸びるなど、5 箇所歩行者数が増加している一方で、京成百貨店前、水戸市民会館前等は、Mitori0 周辺におけるイベントの開催状況等の影響により減少している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 水戸市民会館事業の推進（水戸市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	水戸市民会館において、市民自ら企画、運営、参加、出演する舞台の制作や大ホール、中ホール等を使用した全館規模の自主事業を実施するとともに、関係機関と連携しながら、市民ニーズの高いコンサートや会議を開催するなど、大規模なコンベンションを誘致する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 1,300人/日（市民会館来館者数から推計した歩行者通行量見込値） 【最新値】 2,676人/日（令和7年度市民会館来館者から推計した歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 令和5年7月の供用開始以降、市民の芸術文化活動の発表の場として活発に利用されるとともに、大規模コンベンションなど、多種多様なイベントが開催されたことにより、水戸市民会館の来館者数は増加している。これをもとに算出した歩行者通行量は2,676人となり、事業目標値を上回る成果が現れている
事業の今後について	引き続き、市民ニーズの高いコンサートや会議等の開催とともに、大規模なコンベンション誘致を行うなど、各種事業を展開しながら、更なる誘客を促進し、まちなかへの来街者数の増加につなげる。

②. 弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくり（水戸市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	弘道館・水戸城跡周辺地区においては、令和元年度に水戸城歴史的建造物である大手門、令和2年度に二の丸角櫓等が完成し、地区の魅力が高まっている。歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントの開催等により、当地区への誘客を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 150人/日（弘道館来館者数から推計した歩行者通行量見込値） 【最新値】 209人/日（令和7年度弘道館来館者数から推計した歩行者通行量見込値）

	【進捗状況】 弘道館・水戸城跡周辺地区において、大手門をはじめとする歴史的建造物等を案内する歴史まち歩きツアーや、弘道館東側広場を活用した民間団体によるイベント開催の効果により、誘客を促進することで弘道館の来館者数が増加している。これをもとに算出した歩行者通行量は209人となり、事業目標値を上回る成果が現れている。
事業の今後について	引き続き、歴史的資源と弘道館東側広場を効果的に活用したイベントの開催等により、弘道館・水戸城跡周辺地区への誘客を促進し、まちなかへの来街者の増加につなげる。

③. 企業誘致推進事業（水戸市）

事業実施期間	平成26年度～【実施中】
事業概要	一定規模以上の商業施設やオフィス等の業務機能を新設する企業に対し、市民の新規雇用への助成や、税制優遇措置等を行う。また、企業誘致コーディネーターを配置し、制度の周知やマッチングに取り組むことで、円滑な企業立地を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 500㎡/年（歩行者通行量見込値推計に当たっての増加事業所面積） 【最新値】 ・0件（新規開業数） ・0㎡（令和7年度新規開業事業所の面積合計） 【進捗状況】 相談企業に対し、企業立地促進補助の制度の紹介など、きめ細かな対応を行ったが、事業所の新規開業には至らなかった。
事業の今後について	企業誘致は、若い世代が魅力を感じる多様な働く場を創出するとともに定住・移住を増加させ地域経済の持続的な発展につながるものである。商工会議所をはじめとした関係機関と緊密に連携し、幅広い業種を対象とした企業誘致を推進する。

④. 中心市街地における商業施設等の立地促進事業（水戸市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	中心市街地への店舗や事務所等の立地を更に促進するため、空きテナント等への出店に対し、改装費を補助することで、商業や業務等の都市機能の集積を一層図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和10年3月）

事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 600 ㎡/年（歩行者通行量見込値推計に当たっての増加事業所面積） 【最新値】 ・ 4 件（新規開業数） ・ 567 ㎡（令和 7 年度新規開業事業所の面積合計） 【進捗状況】 飲食店を中心に 4 件の新規開業があった。1 年当たりの目標件数を達成し、着実に成果が現れている。
事業の今後について	本事業は、多種多様な事業所等の立地や創業・スタートアップを促進するとともに、働く場の創出につながるものである。引き続き商工会議所をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的な P R に取り組むことで、新規開業を更に推進する。

⑤. サテライトオフィス等開設促進事業（水戸市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	首都圏等の事業者におけるテレワーク需要の増加を踏まえ、サテライトオフィス等を新規開設する法人に対し、開設費用（賃借物件等の改装費、償却資産の取得費、事務所の移転費）を補助することで、本市の中心市街地への事務所の開設や本市への移住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 500 ㎡/年（歩行者通行量見込値推計に当たっての増加事業所面積） 【最新値】 ・ 1 件（新規開業数） ・ 79.4 ㎡（令和 7 年度新規開業事業所の面積合計） 【進捗状況】 事業所等面積の増加数は 1 年当たりの目標に及ばなかったものの、当該事業を活用したサテライトオフィスの新規開設につながった。
事業の今後について	本事業は、多種多様な事業所等の立地や働く場の創出、移住・定住者の増加につながるものである。引き続き茨城県をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的な P R に取り組むとともに、企業ニーズの把握等に努めながら、事業所等の新規開設を更に促進する。

⑥. 空き店舗対策事業（水戸市、水戸商工会議所）

事業実施期間	平成 16 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗への新規出店に対し、改装費を補助することで、空き店舗率を改善するとともに、商店街における個店の連続性の維持・向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 400 ㎡/年（歩行者通行量見込値推計に当たっての増加店舗面積） 【最新値】 ・ 11 件（新規出店数） ・ 536 ㎡（R7 新規開業店舗の面積合計） 【進捗状況】 飲食店を中心として 11 件の新規出店があり、それに伴う店舗面積増加数は、1 年当たりの事業目標を上回り、着実に成果が現れている。
事業の今後について	本事業は、商店街の魅力や生活の利便性を向上するほか、多種多様な事業所等の立地や創業・スタートアップを促進するとともに働く場の創出につながるものである。引き続き商工会議所をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的な PR に取り組むことで、新規出店を更に促進する。

⑦. 民間事業者共同住宅整備促進事業（民間事業者）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	民間事業者主体による共同住宅の整備を促進し、まちなかへの居住を誘導する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 1,040 人/日（居住人口増加数から推計した歩行者通行量見込値） 【最新値】 ・ 556 戸（R5～整備戸数） ・ 1,140 人（R5～整備戸数から推計する居住人口増加数） ・ 2,724 人/日（R5～整備戸数から推計する歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 民間事業者による共同住宅の整備が促進されたことによって、事業目標値を上回った。
事業の今後について	まちなかの持続的な発展に向けて、関係機関と連携し、民間事業者による当該事業の促進を図り、まちなかへの居住の誘導を進める。

⑧. 泉町 1 丁目広小路地区優良建築物等整備事業（水戸市）

事業実施期間	令和 3 年度～令和 8 年度【実施中】
事業概要	本地区は、長年、空き店舗や空き家として放置され老朽化が著しい建物が存在するため、まちの活性化はもとより、防災まちづくりの観点から、優良建築物等整備事業により、商業施設や共同住宅の複合施設を整備し、良好な市街地整備を形成する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 348 人/日（居住人口増加数から推計した歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 優良建築物等整備事業に係る建築工事が進むなど、民間事業者主体による共同住宅の整備が進捗している。
事業の今後について	今後、整備戸数の拡充による居住人口の増加により、目標指標を達成する見込みである。

⑨. 水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業（水戸市）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 8 年度【実施中】
事業概要	中心市街地はもとより本市の玄関口となる本地区において、商業、業務、住宅機能など、新たな都市利用の拠点を整備する再開発事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業）（国土交通省）（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 902 人/日（居住人口増加数から推計した歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 市街地再開発事業に係る建築工事が進むなど、再開発組合主体による共同住宅の整備が進捗している。
事業の今後について	今後、整備戸数の拡充による居住人口の増加により、目標指標を達成する見込みである。

⑩. 子育てまちなか住宅取得事業（水戸市）

事業実施期間	令和 2 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	若い世代のまちなかへの定住を促進するため、子育て世帯の中心市街地への住み替えに伴う住宅取得費に対し補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省）（令和 5 年度～令和 9 年度）

事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 49 人/日（居住人口増加数から推計した歩行者通行量見込値） 【最新値】 ・ 89 人（R7 居住人口増加数） ・ 25 世帯（R7 事業活用戶数） ・ 123 人/日（R7 事業活用戶数から推計する歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 マンションを中心に、エリア内において住宅購入者の事業利用が増加したことにより、その結果から推計される歩行者通行量が、目標値を大きく上回った。
事業の今後について	子育て世帯も暮らしやすいまちなかの形成を図るとともに、補助制度の周知を徹底しながら、子育て世帯のまちなかへの居住の誘導を進める。

⑪. 安心住宅リフォーム支援事業（水戸市）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	既存住宅におけるリフォーム工事費に対し、補助を行うことで、将来にわたって安心して住み続けることができる住環境づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省） （令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 25 人/日（居住人口増加数から推計した歩行者通行量見込値） 【最新値】 ・ 10 人（R7 事業活用戶数から推計する居住人口増加） ・ 5 世帯（R7 事業活用戶数） ・ 25 人（R7 事業活用戶数から推計する歩行者通行量見込値） 【進捗状況】 事業利用世帯数から推計する居住人口は 10 人となり、その結果から推計される歩行者通行量は事業目標値を達成した。
事業の今後について	まちなかに安心して住み続けることができる住環境の形成を図るため、補助制度の周知を徹底しながら、既存住宅ストックの活用を促進し、まちなかの定住化を進める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

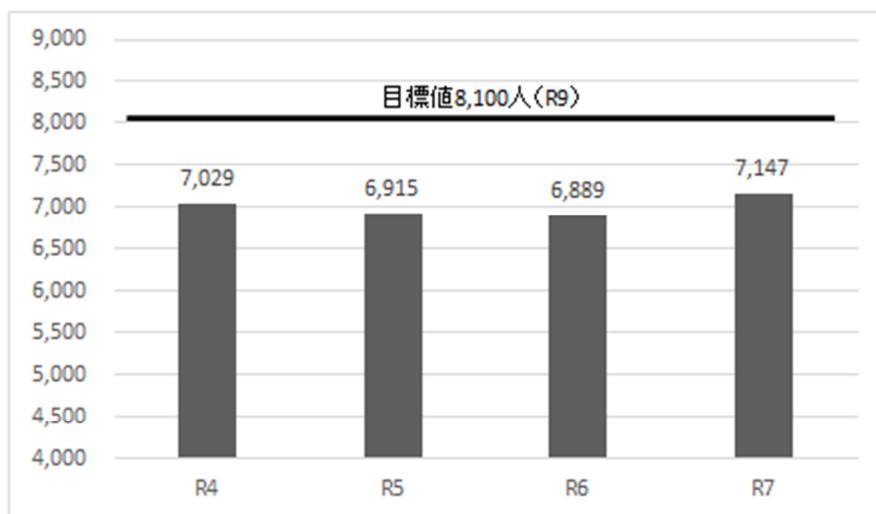
主要事業はおおむね順調に進捗しており、前年度と同様に目標値を上回ったところである。

今後も、交流拠点等を活用した更なるにぎわいの創出に向けて、「Mitori0」エリアにおいては、音楽、演劇、現代美術に係る催し等を開催し芸術・文化を創造・発信するとともに、国内外の会議・大会・学会等のコンベンションを誘致するなど、多様な事業を展開することで、市民の新たな交流を創出し、にぎわいを高めていくための拠点性を強化する。

また、水戸の歴史の象徴でもある弘道館・水戸城跡周辺地区においては、弘道館東側広場を活用したイベント等の開催により誘客を促進し、にぎわいを創出するとともに、「水戸学の道」散策マップ等により歴史・観光ロード及び周辺地区の魅力をPRするなど、水戸駅からの回遊性の向上を図る。さらに、拠点間や中心市街地に隣接する偕楽園及びアダストリアみとアリーナ（東町運動公園）との回遊性や連携性を向上させ、にぎわいをまちなかへ波及させていく。

(3)「居住人口」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 79～P. 82 参照

●調査結果と分析



年	居住人口（人）
R4	7,029 （基準年値）
R5	6,915
R6	6,889
R7	7,147
R8	
R9	8,100 （目標値）

※調査方法：住民基本台帳に基づく水戸市町丁別人口より中心市街地（都市中枢ゾーン）区域内人口を抜粋・集計（町丁の一部が区域に含まれる場合は、面積により按分）

※最新調査日：令和7年10月1日時点

※調査主体：水戸市

※調査対象：中心市街地区域内居住者

町丁名	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
泉町 1 丁目	82	83	74	72	—	—
泉町 2 丁目	145	123	123	117	—	—
泉町 3 丁目	269	268	259	253	—	—
大町 1 丁目	165	169	166	171	—	—
大町 2 丁目	216	200	202	207	—	—
大町 3 丁目	420	444	446	444	—	—
金町 3 丁目	12	13	12	12	—	—
五軒町 1 丁目	152	144	147	141	—	—
五軒町 2 丁目	345	341	347	338	—	—
五軒町 3 丁目	157	160	162	162	—	—
栄町 1 丁目	333	340	338	321	—	—
栄町 2 丁目	614	613	582	569	—	—
三の丸 1 丁目	451	446	436	433	—	—
三の丸 2 丁目	292	286	308	313	—	—
大工町 1 丁目	200	192	197	185	—	—
大工町 2 丁目	257	247	258	251	—	—
天王町	83	83	79	77	—	—
梅香 1 丁目	60	58	56	55	—	—
梅香 2 丁目	64	61	60	58	—	—
備前町	34	34	32	31	—	—
南町 1 丁目	315	311	302	311	—	—
南町 2 丁目	616	603	645	821	—	—
南町 3 丁目	602	579	558	549	—	—
宮町 1 丁目	439	428	415	574	—	—
宮町 2 丁目	607	591	585	590	—	—
宮町 3 丁目	98	97	100	92	—	—
合計	7,028	6,914	6,889	7,147	—	—

〈分析内容〉

令和 7 年度の居住人口は、中心市街地全体では 7,147 人と、基準値を上回る結果となった。主要事業である民間事業者共同住宅整備促進事業による新規共同住宅の整備が進んだほか、子育てまちなか住宅取得事業の最新値が目標値を上回るなど、成果が現れているところである。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 民間事業者共同住宅整備促進事業（民間事業者）

事業実施期間	令和５年度～令和９年度【実施中】
事業概要	民間事業者主体による共同住宅の整備を促進し、まちなか居住を誘導する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 1,150人（５年間の居住人口増加数） 【最新値】 ・556戸（R5～整備戸数） ・1,140人（R5～整備戸数から推計する居住人口増加数） 【進捗状況】 民間事業者による共同住宅の整備が促進されたことによって、目標値におおむね達するなど、成果が得られた。
事業の今後について	まちなかの持続的な発展に向けて、関係機関と連携し、民間事業者による当該事業の促進を図り、まちなかへの居住の誘導を進める。

②. 泉町１丁目広小路地区優良建築物等整備事業（水戸市）

事業実施期間	令和３年度～令和８年度【実施中】
事業概要	本地区は、長年、空き店舗や空き家として放置され老朽化が著しい建物が存在するため、まちの活性化はもとより、防災まちづくりの観点から、優良建築物等整備事業により、商業施設や共同住宅の複合施設を整備し、良好な市街地整備を形成する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和５年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 160人 【進捗状況】 優良建築物等整備事業に係る建築工事が進むなど、民間事業者主体による共同住宅の整備が進捗している。
事業の今後について	今後、整備戸数の拡充による居住人口の増加により、目標指標を達成する見込みである。

③. 水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業（水戸市）

事業実施期間	平成28年度～令和８年度【実施中】
事業概要	中心市街地はもとより本市の玄関口となる本地区において、商業、業務、住宅機能など、新たな都市利用の拠点を整備する再開発

	事業を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業）（国土交通省） （令和5年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 410人 【進捗状況】 市街地再開発事業に係る建築工事が進むなど、再開発組合主体による共同住宅の整備が進捗している。
事業の今後について	今後、整備戸数の拡充による居住人口の増加により、目標指標を達成する見込みである。

④. 子育てまちなか住宅取得事業（水戸市）

事業実施期間	令和2年度～令和9年度【実施中】
事業概要	若い世代のまちなかへの定住を促進するため、子育て世帯の中心市街地への住み替えに伴う住宅取得費に対し補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省） （令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 19人/年（居住人口増加数） 【最新値】 89人（令和7年度） 【進捗状況】 マンションを中心に、エリア内において住宅購入者の事業利用が増加したことにより、事業目標値を上回った。
事業の今後について	子育て世帯も暮らしやすいまちなかの形成を図るとともに、補助制度の周知を徹底しながら、子育て世帯のまちなかへの居住の誘導を進める。

⑤. 安心住宅リフォーム支援事業（水戸市）

事業実施期間	平成29年度～令和9年度【実施中】
事業概要	既存住宅におけるリフォーム工事費に対し補助を行うことで、将来にわたって安心して住み続けることができる住環境づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省） （令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 10人/年（居住人口増加数）

	【最新値】 ・ 5 世帯（R7 事業活用戶数） ・ 10 人（R7 事業活用実績から推計する居住人口増加） 【進捗状況】 事業利用世帯数から推計する居住人口は 10 人となり、事業目標値を上回った。
事業の今後について	まちなかに安心して住み続けることができる住環境の形成を図るため、補助制度の周知を徹底しながら、既存住宅ストックの活用を促進し、まちなかの定住化を進める。

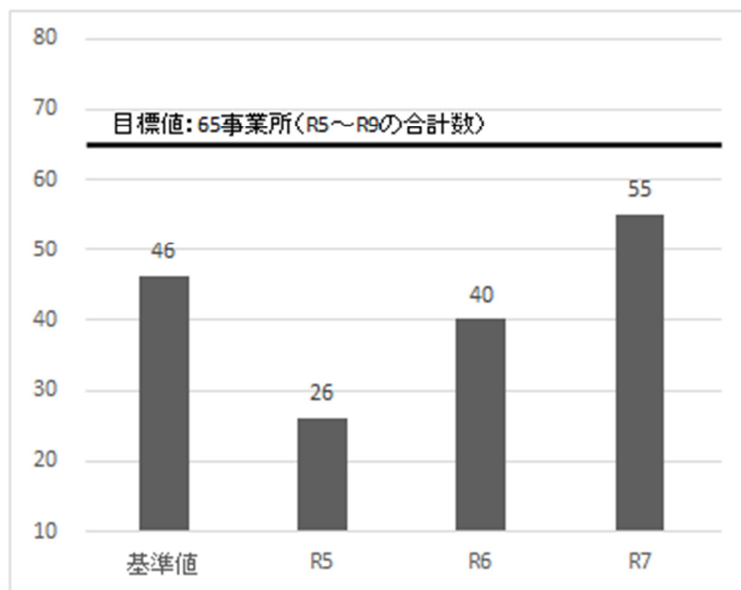
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和 7 年度の居住人口は、民間事業者共同住宅整備促進事業や、子育てまちなか住宅取得事業の活用成果により、基準値を上回った。引き続き制度の周知徹底等を行いながら事業の推進を図り、既存住宅ストック等の活用を促進する。

また、水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業や、泉町 1 丁目広小路地区優良建築物等整備事業等の新たな居住空間の整備事業については、建築工事が進むなど、着実に進捗しているところであり、引き続き、民間資本の活用も図りながら、新たな居住を誘導することにより、目標達成を目指していく。

（４）「新規開業数」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 83～P. 84 参照

●調査結果と分析



年	当該年度の累計新規開業数 (事業所)
R3	46 (H29～R3の合計数) (基準年値)
R5	26
R6	40
R7	55
R8	
R9	65 (R5～R9の合計数) (目標値)

※調査方法：各事業の活用件数から算出

※計測値：令和7年度の累計

※調査主体：水戸市

※調査対象：中心市街地（都市中枢ゾーン）での新規開業数

〈分析内容〉

令和7年度の新規開業数は15件であり、1年当たりの目標件数である13件を上回った。

新規開業の内訳は、空き店舗対策事業の活用が11件、中心市街地における商業施設等の立地促進事業の活用が4件であり、飲食店を中心とした新規開業の促進によりまちなかのにぎわい創出が図られた。

これは、関係機関との連携のもと、関連事業の積極的な推進に努めた成果であると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業（水戸市、水戸商工会議所）

事業実施期間	平成 16 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗への新規出店に対し、改装費を補助することで、空き店舗率を改善するとともに、商店街における個店の連続性の維持・向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 8 事業所/年（新規出店数） 【最新値】 11 事業所（令和 7 年度） 【進捗状況】 飲食店を中心として 11 件の新規出店があった。1 年当たりの事業目標値を上回り、着実に成果が現れている。
事業の今後について	本事業は、商店街の魅力や生活の利便性を向上するほか、多種多様な事業所等の立地や創業・スタートアップを促進するとともに、働く場の創出につながるものである。引き続き商工会議所をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的な PR に取り組むことで、新規出店を更に推進する。

②. 企業誘致推進事業（水戸市）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	一定規模以上の商業施設やオフィス等の業務機能の新設する企業に対し、市民の新規雇用への助成や、税制優遇措置等を行う。また、企業誘致コーディネーターを配置し、制度の周知やマッチングに取り組むことで、円滑な企業立地を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 1 事業所/年（新規開業数） 【最新値】 0 事業所（令和 7 年度） 【進捗状況】 企業立地促進補助の制度の紹介など、相談企業に対し、きめ細かな対応を行ったが、事業所の新規開業には至らなかった。
事業の今後について	企業誘致は、若い世代が魅力を感じる多様な働く場を創出するとともに移住・定住者を増加させ、地域経済の持続的な発展につながるものである。引き続き商工会議所をはじめとした関係機関

	と緊密に連携し、空きオフィス等の既存ストックを活用するなど、幅広い業種を対象とした企業誘致を推進する。
③. 中心市街地における商業施設等の立地促進事業（水戸市）	
事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地への店舗や事務所等の立地を更に促進するため、空きテナント等への出店に対し、改装費を補助することで、商業や業務等の都市機能の集積を一層図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 3 事業所/年（新規開業数） 【最新値】 4 事業所（令和 7 年度） 【進捗状況】 飲食店を中心として 4 件の新規開業があった。1 年当たりの目標件数を達成し、着実に成果が現れている。
事業の今後について	本事業は、多種多様な事業所等の立地や働く場の創出、移住・定住者の増加につながるものである。引き続き茨城県をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的な PR に取り組むとともに、企業ニーズの把握等に努めながら、事業所等の新規開設を更に促進する。
④. サテライトオフィス等開設促進事業（水戸市）	
事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	首都圏等の事業者におけるテレワーク需要の増加を踏まえ、サテライトオフィス等を新規開設する法人に対し、開設費用（賃借物件等の改装費、償却資産の取得費、事務所の移転費）を補助することで、本市の中心市街地への事務所の開設や本市への移住を促進する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 5 年 4 月～令和 10 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 1 事業所/年（新規出店数） 【最新値】 1 事業所（令和 7 年度） 【進捗状況】 茨城県をはじめとした関係機関と連携し、様々な情報発信媒体を活用した PR に取り組んだ結果、当該事業を活用したサテライトオフィスの新規開設につながった。

事業の今後について

本事業については、多種多様な事業所等の立地、働く場の創出や移住・定住者の増加につながるものである。引き続き茨城県や商工会議所をはじめとした関係機関と緊密に連携し、様々な情報発信媒体を活用した積極的なPRに取り組むとともに、本市へのサテライトオフィス等の開設に係る企業ニーズの把握等に努めながら、事業所等の新規開設を更に推進する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業についてはおおむね順調に進捗しているところである。

今後については、引き続き、空きテナント等の既存ストックを活用したまちなかでの創業や、企業誘致に係る取組を積極的に展開するなど、空き店舗対策事業や魅力ある商店街づくりを進めるほか、地域経済をけん引する活力づくりに努めることとする。